



■開会の挨拶

会長 向殿 政男

鉄道総研では、鉄道の持続的発展に寄与することを目的として様々な研究開発を行ってきた。鉄道総研講演会は、こうした活動を広く社会の皆様知って頂くことを目的に1988年より毎年開催しており、今回で33回目を迎える。鉄道事業の大前提は、間違いなく安全にあり、安全の確保とは、物理的な安全の上に、情報技術、最近ではデジタル技術を駆使して、高機能に安全を支援し、効率を高めて、さらにその上で、人間の能力を駆使して、柔軟に安全を確保していくことである。これは基礎研究の蓄積なしに進めることはできない。今回の講演会では、「革新的な鉄道技術の源泉となる基礎研究」を主題に掲げ、基礎研究分野におけるこれまでの取り組みと成果、さらに、With/After コロナも視野に入れたこれからの方向性や目標について紹介する。最初に、国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター長 持丸 正明様より「人に寄り添い、人を高める人間拡張技術」と題して特別講演を頂く。その後、鉄道総研理事の古川より、「革新的な鉄道技術の源泉となる基礎研究」について基調講演を行い、続けて、環境、車両、電気、土木の分野毎の基礎研究への取り組みについて紹介する。鉄道を取り巻く喫緊の課題や、それぞれが抱える普遍的なテーマに対し、基礎研究への取り組み方は分野毎に異なるが、そうした点も合わせて、ご聴講いただき、「鉄道の基礎研究」を一つの柱とする鉄道総研の研究開発の取り組みや、方向性などについて忌憚のないご意見をいただければ幸いである。